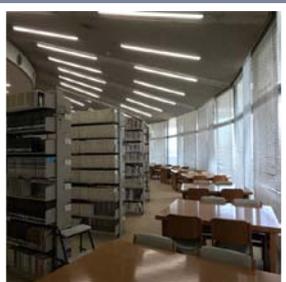




Ohkagakuen University Japan Study Program (日本語)

桜花学園大学の魅力

- ♥ 女子大学として日本の伝統を大切に
する校風
- ♥ 「教育に親切なれ」というモ
ットーに基づいた丁寧な指導
- ♥ 現代日本社会はもちろんのこと
グローバルな知識が学べる充実
したカリキュラム
- ♥ 観光専門のコースを設置
- ♥ 地域と連携した豊富な学外研修
- ♥ 日本語&英語の学習環境
- ♥ 全国的にも有名な学生主体のキ
ャンパスライフ
- ♥ 東京・大阪など主要都市へのア
クセスがとても便利で短時間で
移動可能
- ♥ 自然豊かでありながら都会に隣
接した立地



目次

♠桜花学園大学の魅力	2
♠学芸学部長兼国際交流委員長から のメッセージ	3
♠桜花学園大学の概要	4
♠キャンパス紹介	5
♠カリキュラム	6
♠授業概要	7
♠学芸学部の1年	14
♠学生寮	15
♠費用	16
♠Q&A	17
♠アクセス	18
♠連絡先	19

OHKA



学芸学部長兼国際交流委員長 からのメッセージ

桜花学園大学学芸学部は、海外からの留学生を心から歓迎します。この学部に学ぶ学生たちはみな、入学して10ヶ月後には海外での英語研修を経験しています。ですから、海外への開かれた目と心を持っています。教員スタッフも半分は外国人で、英語・韓国語・中国語を母語としています。日本人教員も全員、海外経験・留学経験を持っています。さらに事務局にも韓国人スタッフがいます。皆さんの日本留学体験を豊かなものにするため、スタッフ全員でサポートします。





桜花学園大学

桜花学園は、1903年にその源となる看護学校を設立して以来、110年以上に亘り、女子教育を担ってきました。「心豊かで、気品に富み、洗練された近代女性の育成」という建学の精神は、今も学園運営の基本方針となっており地元では伝統ある女性教育の名門とされています。

桜花学園大学は、桜花学園が1990年に開設した豊田短期大学を母体とし、1998年に新設した4年制女子大学です。学校法人桜花学園には、4年制の桜花学園大学の他に、1955年に設立された2年制の名古屋短期大学と、1948年に設立された桜花学園高等学校、そして1967年に設立された名古屋短期大学付属幼稚園があります。

桜花学園大学は、2学部（保育学部と学芸学部）と1大学院（人間文化研究科）で構成されています。キャンパス内には5学科（2018年度より1学科増設）合わせて約2,000人ほどの学生で賑わっています。交換留学生は桜花学園大学の学芸学部に所属します。

桜花学園大学は愛知県豊明市に位置しています。キャンパスがある地域は日本の歴史的に戦いとして有名な桶狭間合戦の跡でもあります。そして豊明市は、中部地域の中心地である名古屋市に隣接しておりセントレア中部国際空港まで自動車で約40分、名古屋駅まで名鉄名古屋本線で約20分、若者の街で知られる栄周辺までバスや電車で約40分かかります。名古屋駅から東京駅までは新幹線で約1時間30分、新大阪駅までは約50分と周辺地域へのアクセスがとても便利なところです。



キャンパス 紹介

- ① 7号館
- ② 体育館
- ③ 5号館
- ④ 図書館
- ⑤ チェリープラザ99
- ⑥ 0号館/1号館
- ⑦ セミナーハウス
- ⑧ 学生会館
- ⑨ 6号館
- ⑩ 研究管理棟
- ⑪ テニスコート
- ⑫ ゴルフ練習場
- ⑬ 2号館
- ⑭ 3号館
- ⑮ おみくじ階段
- ⑯ 付属幼稚園



カリキュラム（2017年度）

カリキュラムは、桜花学科目群、基礎科目群、日本語科目群、専門科目群の4科目群で構成されています。半期で16単位から19単位まで自由に履修することができます。科目講学期および担当者は変更されることがあります。

1. 桜花学科目群

*原則的に桜花学科目群の各領域の中の2つの科目を同時に履修することはできません。

領域	前期(単位)	領域	後期(単位)
自分を 知る	現代社会と女性(2)	社会を 知る	地域社会(2)
	女性とジェンダー(2)		
	芸術の世界(2)		人間と歴史(2)
人間を 知る	文学の世界(2)	世界を 知る	異文化理解(2)
	心の探求(2)		日本の文化(2)
	生き方の探求(2)		国際関係論(2)
生活と経済(2)	世界の宗教(2)		
自然を 知る	環境の科学(2)		
	食と生命の科学(2)		

2. 基礎科目群

前期	後期
スポーツ・ゴルフ(1)	スポーツ健康論(2)
スポーツ・サッカー(1)	スポーツ・テニス(1)
社会調査法(2)	スポーツ・バドミントン(1)
NGO・NPO論(2)	情報社会論(2)
現代社会と企業(2)	国際ボランティア(1)
地域協力演習(2)	
国内ボランティア(1)	

3. 日本語科目群

前期	後期
日本語表現Ⅰ(1)	日本語表現Ⅱ(1)
日本語表現Ⅲ(1)	日本語表現Ⅳ(1)
日本語A(1)	日本語B(1)
日本語C(1)	日本語D(1)

4. 専門科目群

	前期	後期
観光 領域	Tourism English I(2)	Tourism English II(2)
	観光学概論(2)	国内旅行地誌(2)
	観光ホスピタリティ(2)	観光マーケティング(2)
	外国旅行地誌(2)	観光とサブカルチャー(2)
		観光政策論(2)
文化 領域	ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1)
	Social Anthropology(2)	Asian Studies(2)
	日本研究(2)	Comparative Cultural Studies(2)
	American Studies(2)	異文化研究(2)
	British Studies(2)	Oceanian Studies(2)
	フィールドワーク(2)	フィールドワーク(2)

授業概要

桜花学科目群

現代社会と女性（前期/嶋守） 現代の日本および世界の子ども、女性、環境の状況と保育についての現状を把握し、一見男女平等社会に見える現代社会で女性はどういう問題をかかえているのか。また、それらの問題が生じる社会・歴史的な背景を理解し、その問題解決の視点を保育に活かす方法について考察する。

女性とジェンダー（前期/成田） 現代社会におけるジェンダーを理解するという目標の基に、世界の多様な事例を取り上げ、女性のエンパワメントの必要性について学ぶ。特に開発援助の分野では、ジェンダーの視点による支援も必須になっているので、「開発とジェンダー」の手法についても説明をしていく。グローバル時代に活躍する女性たちについても理解を深めよう。

女性とジェンダー（前期/石月） 世界史の中の著名女性に注目し、ジェンダーの視点から生き方を考察する。授業は、映像を用いて、それぞれの時代を視覚的にも理解し、女性の生き方が国などの置かれた状況に左右されてきたことを知る。

芸術の世界（前期/石山・基村・田端） 音楽・美術等、芸術に関して多角的に幅広く講義し「芸術とはなにか」を追求する。芸術の細かな知識を身につけるのではなく、世界共通の文化として概略的に理解・経験することを目標とし学修する。

文学の世界（前期/太田） 主に宮沢賢治の作品分析およびその考え方、視点、生き様などを学ぶことにより、言語芸術の持つ特性について学修し、人間性を涵養する。

心の探求（前期/大草） 人間の心を研究する心理学の基本的な考え方を紹介・説明していく。「心」は人間の問題の多くに関わっているため心理学は幅広い内容を持つが、すべてが解明されているわけではない。「人間を知る」ためのヒントにすべし心理学を勉強していく。

生き方の探求（前期/井上） 〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問である「哲学」に基づいて、人間が生きる日常の中の様々な生き方の諸問題の哲学的考察を通して、〈自己の生き方を探求する〉ことを本授業の概要と方法とする。

生活と経済（前期/森田） 生活の社会化（従来家族で担ってきた私的な機能である家事・介護・育児などが社会的な機能に置き換わること）の進展の中で、私たちの労働のあり方や人間活動力の再生産のあり方にとどのような変化がおきているのか、その背後にはどのような考え方があるのかについて学修する。授業の最後にコメントシートを記入してもらい、次回リフレクションを行う。

環境の科学（前期/辻） 様々な生態系における環境問題と生物の保全対策について学び、ヒトと自然の共生のあり方について考える。配布プリントによる講義を中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、実習、雑誌・新聞記事、インターネット等を通して、自然環境や野生生物に対する理解を深める。

授業概要

食と生命の科学（前期/辻岡・藤田・木村） 食・脳・生命の科学に触れ、現代社会に不可欠な自然科学的な見識を深める。3名の教員から5回ずつ食・脳・エネルギー代謝について受講するオムニバス形式の授業形態とし、講義（6回）、グループ学習・問題解決学修（3回）、実験（4回）、プレゼンテーション（2回）を行う。

地域社会（後期/嶋守） 社会学の学問的なイメージをつかんでもらい、人々が生まれ、育ち、学び、働き、自らの子ども達を育て、自己を実現していくというプロセスと、人々が出会う人間関係と地域の問題を社会的に考察する。また、「地域社会で生きていくための課題」をグループワーク等により実践的に学ぶ。

人間と歴史（後期/小久保） 昔話などから見る日本史。神話・昔話・童謡・絵本・詩・現代メディアに反映される歴史的背景を読み取り、日本史の各時代かどのようなものであったのかについて考える。それを踏まえ、各時代の中での子供の位置付けや、英語の導入の歴史についてもアプローチを行う。

異文化理解（後期/加藤） クローバル社会への理解を深めるという目標をもとに、異文化という観点からコミュニケーションの具体的な事例を取り上げ、異なる文化を持った人にとのよう伝え、交わるかといった考えを学ぶ。また、異文化理解においては他者をどのように受け入れ、理解するのかについて考える。さらに、多文化共生社会の中で異なった文化背景を持った人といかに円滑に共存できるかについて一緒に考えていく。Active Learning 型の授業を実践するため、グループワークやディスカッションを取り入れる。

日本の文化（後期/ベルドン） この講義では日本の文化について学ぶ。歴史や有名なお祭りなど現在の文化について学習していく。この機会に一緒に日本の文化について知識を深めよう。

国際関係論（後期/高橋） 日常生活で当たり前で正しい（と思われる）事でも、他の国、他の地域に行けば逆に悪い事（と思われること）がある。世界には様々な文化、様々な社会が存在する。全く相反する異なる価値観が存在したとしても私たちは共存していかなければいけない。そうした国際社会の現状とルールがどうなっているか、を様々な事例から勉強する。毎週最新のニュースを扱いながら、様々な今までの事例を考え、幅広い視野を身につけるようにする。映像と事例を多数示し授業を進める。難しい理論よりも、様々な事例を見ながら考えながら、極力易しく授業を進める。一般教養の基礎力アップも同時に目指して授業を進める。

世界の宗教（後期/成田） クローバリゼーションを理解するという目標の基に世界の宗教的な事例を取り上げ、異なる文化を持った人かどのような宗教を信しているのか、あるいは文化を超えた宗教の力について学ぶ。また旅をして聖地を訪れる感覚で、多くの宗教的な遺産地域を紹介しながら、宗教的意義について考えていく。さらに、クローバル時代の中で、宗教的に異なった文化背景を持った人々がいかに円滑に共存できるかについて一緒に考えていこう。

授業概要

基礎科目群

スポーツ・ゴルフ（前期/横井） 初心者を対象とした基本的な技術を身につけるための反復練習が主となる授業展開を行う。実際にはコースをラウンドすることはないが、ゴルフ上でのマナーやルールについても習得する。

スポーツ・サッカー（前期/水落） サッカーの基礎的スキル習得とともにゲームを通じてルール・戦術について学習する。さらに、チームプレーを通して互いに協力し合うなどの社会的態度の育成と生涯スポーツの観点から体を動かす楽しさを身に付ける。

社会調査法（前期/南） 社会調査の技法について学ぶ。明確な問題意識に基づいて仮説を立て、調査法の確定、調査の設計、実査、データの分析と命題の提示にいたるまでのプロセスを科学的・客観的に処理する方法について詳述する。調べることなしに科学は成り立たない。社会調査は調べたことを命題や法則に昇華するための不可避の手段である。

NGO・NPO 論（前期/成田） 国際援助における NPO・NGO の組織と構造と運営のあり方について学ぶとともに、国際機関や企業などとの連携のあり方などについても理解を深める。更に国際ボランティア活動への参加の方法・運営に関して必要な知識と実践技術を学ぶ。講義においては国際 NGO 等の活動の事例を取り上げながら、そのあり方や今後の課題等について学び、学生達が将来の選択肢の一つとして国際 NGO を認識することを目指す。

現代社会と企業（前期/森田） 私たちの生活は、企業が販売する製品やサービスを購入し、それらを消費することによって成り立っている。また、多くの方は組織とりわけ企業に雇用されて生活のためのお金を得ている。本講義では、現代社会に不可欠な企業という「協働システム」とは何か、また、この組織と個人の関係について学ぶ。

地域協力演習（前期/根尾） 2018 年度からスタート

国内ボランティア（前・後期/クラーク） NPO/NGO、企業、政府機関、私立機関、観光機関等でボランティア活動に参加することにより、学生たちが成長し、経験し、コミュニティ精神を養うことを目的とする。子ども達、障害を持つ人、貧しい人、病める人、環境やコミュニティ全体を助ける等が実践例として考えられる。その他の活動も可能であり、担当者とともに話し合って決定する。

スポーツ健康論（後期/小磯） 健康・運動に関するテーマについてのレクチャーを中心に受講する（テーマの内容をまとめたスライドや資料を使用する）。また、デモンストレーション・運動参加などを織り交ぜ学習する。

スポーツ・テニス（後期/小磯） テニスの基本的なルール・マナーそして技術特性を学ぶ。集団の中での協調性を身に付け積極的に講義へ参加し、健康を維持し体力を高めること。テニスを通じて生涯スポーツを楽しめるようになること。

授業概要

スポーツ・バドミントン（後期/榎本） バドミントンの魅力のひとつはだれでも手軽に楽しむことができる点にある。ゲームを体験すると運動量の多さや技術の奥行きの高さ、戦術の複雑さに驚かされる。ゲームを経験し、ダブルスのフォーメーションの理論と戦術、シングルのレベル別の試合を通して、バドミントンの楽しさを体験する。バドミントンの理論と実践、またそれらを通して運動感覚を習得し、生涯にわたって年齢と体力に応じた豊かなスポーツライフを送るための基礎づくりをする。

情報社会論（後期/木村） メディアの発達により我々は多くの情報を手に入れることができるが、多くの情報を得てもそれらすべてが有益なものとはいえない。しかも「知る」ということが優先され、ものごとを深く考えない傾向にある。本講義では情報を「知る」こと、「考える」こと、そして「判断する」こと、そしてその情報を問題解決（対応）にいかに関与していくかについて検討していく。

日本語科目群

日本語表現Ⅰ（前期/入口） 大学生に必要な日本語運用スキルを身につけることを目的とする。「話す・聞く」の言語活動に重点を置き、実践を通してその基礎力を養う。授業では、学内でインタビューを実施し、その成果を発表する。さらに、同じテーマで他の人にインタビューを実施する。2つの視点からテーマに迫り、その成果を発表する。また、漢字テストを実施することで漢字の知識を増やす。

日本語表現Ⅱ（後期/入口） 大学生に必要な日本語運用スキルを身につけることを目的とする。フックレポートの作成を通して、適切な資料を選択するスキルを身につけるとともに、読む力、書く力を高める。また、漢字テストを実施することで漢字の知識を増やす。

日本語表現Ⅲ（前期/入口） 大学生に必要な日本語運用スキルを身につけることを目的とする。実践を通して学術的な文章を書く力を養う。さらに、帯学習での課題実施を通して、ことばの知識を増やし、さらに時事問題への関心を高める。授業では、新聞記事を用いて意見文を作成する。また、漢字テストを実施することで漢字の知識を増やす。

日本語表現Ⅳ（後期/入口） 大学生に必要な日本語運用スキルを身につけることを目的とする。実践を通して「読む・書く・話す・聴く」のそれぞれの力をさらに高める。授業では、新聞記事の複数の資料を用いて多角的にテーマについて考え、自分の見解を発表する。また、帯学習で漢字、敬語に関する問題を実施し、その知識を増やす。

日本語 A・C（前期/未定）、日本語 B・D（後期/未定） 準備中

授業概要

専門科目群

Tourism English I (前期/根尾) The aim of this class is to raise student's interest and understanding of traveling and tourism English. Students will boost their confidence in listening and speaking with rich practice using typical travel situations. This course will consist of a combination of lecture and practices to develop student's understanding of traveling overseas and English related to travel business including airlines, travel agency, hotel accommodations.

観光学概論 (前期/根尾) 少子高齢化社会の中でここ 10 年来、わが国の重要な成長戦略の柱のひとつとなった「観光」について、観光資源、観光産業、観光政策の観点から、その歴史的背景の基礎を学ぶ。その上でわが国の観光政策に対する理解を深める。講義スタイルが多くなるが、映像（画像）などを多用することにより理解しやすい内容とし、グループ学習も取り入れる。

観光ホスピタリティ (前期/杉井) ホスピタリティ産業の代表である宿泊業、交通運輸業、旅行業、テーマパークなどの観光産業で、ホスピタリティ（おもてなしの心）が発揮され、人に喜びや感動を与えている取組みを学習する。コミュニケーション力の必要性が認識でき、語学等の専門科目への意欲につながる授業方法：経験・体験を通じた実践的な内容とした講義スタイル。レポート（4回）課題をディスカッションする。

外国旅行地誌 (前期/根尾) 2018 年度からスタート

Tourism English II (後期/根尾) The aim of this class is to develop student's interest and understanding of travel and tourism English. Students will learn about advanced travel English and basic knowledge of tourism business. This course will consist of a combination of lecture and practices to develop student's understanding of traveling overseas and English necessary in tourism industry.

国内旅行地誌 (後期/根尾) 松尾芭蕉の「奥の細道」が巡った 1 都 13 県の主要都市・観光地の地理、歴史、文化及びその風土などを行程順に学ぶ。一般的な主だった観光情報だけでなく、芭蕉と俳句に関わる観光資源も組み入れて、より文学的な基礎情報も学ぶ。講義スタイルが多くなるが、地図・画像・映像等を利用し、より分かりやすい内容とする。

観光マーケティング (後期/根尾) 現代企業において最も重要な活動のひとつであるマーケティングの基本を学びながら、観光産業における様々な例題を参照にしてマーケティングの観点から課題を具体的に分析する。またマーケティングの実務体験としてグループワークでマーケティング環境分析を行い発表する。

授業概要

授業概要が英語で書かれている科目は授業が英語で行われます。

観光とサブカルチャー（後期/小柳） 現代社会には、我々の生活を彩るサブカルチャーがたくさん存在する。サブカルチャーは、それ自体が楽しいものであるか、それらを観光産業にとのようにかかすことができるのか。具体的な事例から、その可能性を考えていこう。本授業は担当者による講義と受講生の発表、および講評によって進行する。

観光政策論（後期/根尾） 2018年度からスタート

ゼミナールⅠ（前期）/ゼミナールⅡ（後期） ゼミナールでは、先生の指導の下に少人数の学生が集まって特定の分野やテーマについて学び、研究する。根尾（観光）、Business・International studies・Gender（Clarke、Kiyokawa）、Literature・Culture（Sai、Ikawa）、English Education（Ishiwata）、Language Acquisition（Chivers）、韓国文化（都）、中国文化（高）、日中近代史（布和）、Cultural Anthropology（Narita）、日本の社会と経済（森田）から一つのゼミナールを選択する。原則的に前期と後期でゼミナールを変えることはできない。

Social Anthropology（前期/成田） 2018年度からスタート

日本研究（前期/斎） 広く世界に目を向けるグローバル人材になることを目標として、日本の文化や歴史等に関する基本的な事柄を簡潔かつ丁寧に説明する練習を積む。説明は日本語と英語両方で行ってもらう。グループ学習やグループ発表を何度も行う。

American Studies（前期/キヨカワ） This is related to the ability to understand languages and other cultures from the global perspective. This course is designed to introduce students to the daily life and popular culture of the US. Aspects of culture found in everyday life throughout the United States will be studied. Current trends in the US will be explored. This course will consist of a combination of lectures, discussions, individual presentations, quizzes and a portfolio. Roughly 30% of the class will be teacher lead lectures. The remaining 70% will be in-class discussions and activities to check understanding. To build student's critical thinking, they are expected to bring their ideas, opinions and background knowledge to the class discussions. Students will be expected to do weekly homework reading and exercises; participate in several group discussions; take comprehension quizzes and do several presentations.

British Studies（前期/井川） British Studies II is an elective course aimed to introduce students to the understanding of present UK culture and society, the characteristics of each nation, relationship of the individual and the government. TV programs, poetry, music, films and festivals are used as the material in the course. Each student is required to do a presentation as a representative of England, Scotland, Wales, Northern Ireland and Republic of Ireland during the course. Then we will discuss what is Britishness and Irishness.

授業概要

授業概要が英語で書かれている科目は授業が英語で行われます。

フィールドワーク（前・後期/根尾） 実社会では、営利を目的とした活動から非営利活動に至るまで、様々な機能を持った組織体か社会を構成している。それぞれの組織体（企業、自治体、NGO・NPO）かどの様な活動を通して社会に貢献しているかを、事前調査、現地フィールドワーク、事後調査の分析を通して理解する。

Asian Studies（後期/成田） The aim of this class is for students to learn some aspects of Asia societies where big change has happened dynamically. Some developmental projects did affect a lot on its changing but we have to focus on some important problems behind its change. We need to solve these problems in the viewpoints of globalization. This class will be taught using a combination of lecture, and in-class discussions to check the meaning and understanding of the material followed by practical exercises to demonstrate the application of the material being covered in class.

Comparative Cultural Studies（後期/成田） In this class, we will regard the Disney culture as keyword and take up first the culture of American Disneyland and then those of other Asian & European theme parks, hence we will examine the necessary elements in the formation of global and local identity. Also we will understand the basic concept of authenticity and discuss the importance of “glocalization” which means interaction of the global and the local. This class will be taught using a combination of lecture, and in-class discussions to check the meaning and understanding of the materials.

異文化研究（後期/斎） 広く世界に目を向けるグローバル人材になることを目標として、異文化や外国の歴史等に関する基本的な事柄を簡潔かつ丁寧に説明する練習を積む。説明は日本語と英語両方で行ってもらう。グループ学習やグループ発表を何度も行う。

Oceanian Studies（後期/成田） The aim of this class is for students to learn several aspects of Oceania areas through case studies, mainly focusing on Australia. This area is close to Japan, so we need to learn the historical relationship and cultural differences. This class will be taught using a combination of lecture, and in-class discussions to check the meaning and understanding of the material given in the class.

◆履修例1) 前期17単位履修の場合

芸術の世界(2)
生き方の探求(2)
国内ボランティア(2)
日本語A(1)
日本語表現I(1)
観光学概論(2)
観光ホスピタリティ(2)
日本研究(2)
フィールドワーク(2)
ゼミナールI(1)

◆履修例2) 後期19単位履修の場合

人間と歴史(2)
日本の文化(2)
情報社会論(2)
日本語表現II(1)
日本語B(1)
日本語D(1)
国内旅行地誌(2)
観光とサブカルチャー(2)
観光政策論(2)
Asian Studies(2)
異文化研究(2)

学芸学部 の 1 年

諸事情により変更されることがあります。

4月

入学式・オリエンテーション
フレッシュマンセミナー
美濃 or 土岐学外研修
前期授業開始、昭和の日



10月

体育の日
ハロウィンパーティー

5月

憲法記念日、みどりの日
こどもの日
新入生歓迎パーティー
中部ウォーカソン



11月

文化の日
大学祭・オープンキャンパス
勤労感謝の日

6月

創立記念日
有松絞り祭、桶狭間祭
芸術鑑賞
オープンキャンパス



12月

天皇誕生日
クリスマスパーティー
刈谷市国際交流フェスター
補講日

7月

海の日、サマーパーティー
万灯祭
オープンキャンパス



1月

正月
成人の日
補講日
後期授業の終了

8月

前期試験・成績発表・追再試験
補講日、夏休み開始
山の日
オープンキャンパス



2月

後期試験・成績発表・追再試験
建国記念の日
春休み開始

9月

世界旅行博&Disney Academy
後期ガイダンス、後期授業開始
敬老の日、秋分の日
オープンキャンパス



3月

学位記授与式
春分の日



学生寮

現在、桜花学園大学のキャンパス内に寄宿舍はありません。近隣の民間アパートを契約して寮として代用しています。ここに示すのは 2014 年の状況ですが、この条件に近い物件を手配する予定です。

- 位置 : 愛知県名古屋市緑区
建物 : 鉄骨構造3階建(女子専用)
占有面積 : 29~32m²
住居環境 : 閑静な住宅街
桜花学園大学まで 350M 徒歩 5分
スーパーマーケットまで 540M 徒歩 7分
コンビニまで 500M 徒歩 6分
交通便 : 名鉄電車中京競馬場から徒歩 15分、有松駅から徒歩 15分
名古屋市バスまたは名鉄バス地蔵池停留場から 360M 徒歩 5分
設備・備品 : TV、洗濯機、電子レンジ、ガスレンジ、冷蔵庫、2段ベッド、
本棚、スチール机、イス、押し入れ、エアコン、
ユニット式バスルーム、洗面台、台所、バルコニー、網戸、
インターフォン、掃除機、インターネット (Wifi 使用可能)

*1 室に 2 人が居住します。

*自炊可能です。自炊にかかる食費は本人負担となります。

費用

生活にかかる費用は個人によって異なります。以下に示すのは概ねの目安です。参考にしてください。

- 1) **桜花学園大学に納入する学費はありません。**あなたの母校に支払う学費については母校に問い合わせてください。
- 2) **渡航費は本人負担です。**
- 3) 桜花学園大学のキャンパス内に寄宿舍はありません。近隣の民間アパートを借りて寮として使用します。**授業がない春休みや夏休みも無料で滞在できます。**

★日本で一人暮らしに必要な生活費の平均年額

家賃	55,000 円×12 ヶ月=660,000 円 (敷金・礼金別途必要)
水道光熱費	10,000 円×12 ヶ月=120,000 円
通信費	10,000 円×12 ヶ月=120,000 円
合計	900,000 円 (1 年間)

しかし、**上記費用は、4) の条件を満たした場合、免除されます。**

- 4) 家賃・光熱費・管理費については、原則的に学芸学部 ESC(English Study Center)の活動や学科の諸行事に参加することを条件に免除します。ESC の活動とは、週に 2~3 時間程度センターに滞在しながら日本人学生たちと英語で交流することです(ESC での日本語使用は禁止)。学科の諸行事にはボランティア活動、学外研修(費用がかかるものもあります)、オープンキャンパス、学生企画イベント、日本人学生との Man to Man 学習などがあります。
- 5) 寮では自炊ができます。**食費および生活経費は本人負担です。**一人暮らしの 1 ヶ月の一般的な平均食費は 30,000 円と言われます。それに、娯楽費やおしゃれ費などが必要になってくるでしょう。生活経費は使い次第で個人差がありますが、**大体の目安として食費を含めて 1 ヶ月 6 万円~7 万円と思われま**す。
- 6) 学科企画の研修として、前期にフレッシュマンセミナー、美濃または土岐の学外研修旅行、芸術鑑賞、後期に世界旅行博覧会&ディズニーアカデミーの研修旅行があります。**合計約 70,000 円の費用が必要です。**日本の伝統文化に触れ日本人学生たちとの交流もできるとても有益な研修ですので、ぜひ楽しみにしてください。
- 7) 勉学に必要な**教材費は本人負担です。**その他、桜花学園大学には図書館をはじめ、ESC、パソコン室、ピアノ練習室などの施設があります。これらの施設は自由に利用できます。
- 8) 日本留学に際して留学ビザの取得が必要です。日本入国後には外国人登録や在留カードの発行、銀行口座開設などの手続きを行います。**行政機関への諸登録費用として数千円程度かかる場合がありますが、本人負担です。**
- 9) 日本入国後、国民健康保険および学生教育研究災害傷害・賠償責任保険には必ず加入していただきます。**国民健康保険は年間で約 60,000 円、学生教育研究災害傷害・賠償責任保険は 1 年で約 1,500 円程度かかりますが、本人負担です。**
- 10) 日本で携帯電話やスマートフォンを使用するために必要な費用は本人負担です。

Q. 留学できるのはどのくらいの期間ですか。

原則的には半年間または、1年間留学できます。桜花学園大学は2学期制ですので、一つの学期または、二つの学期の間、留学することになります。

Q. 単位は交換できますか。

はい、できます。半期で16~19単位を履修できます。桜花学園大学で取得した単位の具体的な認定内容については、あなたの母校に問い合わせてください。

Q. 履修登録はいつすればいいですか。

日本入国後、履修登録期間に行います。時間割によって希望する授業が受講できない場合があります。時間割は改めて示します。

Q. 取得できる資格はありますか。

留学期間によっては可能な場合があります。日本語能力試験やTOEIC試験、世界文化遺産検定、旅行関係の検定などを指導しています。

Q. 一日の授業の流れはどうですか。

1限が9時から始まり18時に5限が終わります。12時10分から13時10分までが昼休みです。1コマの授業時間は90分で授業と授業の間に10分間の休憩があります。

Q. 英語の授業も履修できますか。

はい、履修できます。学芸学部には3人の英語ネイティブ教員および英語専門の教員が4人います。優れた設備や施設も整っており、英語学習にとっても良い環境です。

Q. ノートパソコンは必要ですか。

はい、必要です。ノートパソコンを持ってきても構いませんが、学芸学部ではMacのパソコンを諸学習に使用します。レンタル用のノートパソコンを用意していますので、新たに購入する必要はありません。

Q&A

Q. 試験期間はいつですか。

定期試験は前期末(7月末~8月初)と後期末(1月末~2月初)ですが、多くの科目が授業中に中間テストや確認テストを実施しています。詳細はシラバスに記載されていますので、参照してください。

Q. 成績基準はどうですか。

桜花学園大学の成績は5段階で、100点~90点(AA) GPA4.0、89点~80点(A) GPA3.0、79点~70点(B) GPA2.0、69点~60点(C) GPA1.0、59点~0点(F) GPA0です。

Q. 学内でインターネットは使えますか。

はい、だいたいの教室や施設内で大学のWifiが使えます。一部使えない場所もありますが、快適なネット環境の整備に向けて順次改善しています。

Q. 留学中にアルバイトはできますか。

入国管理局で資格外活動の許可を取る必要があります。また、日本で短期間のアルバイトを見つけることはそう容易ではありませんが、条件に合うアルバイトが見つければ可能です。

Q. 入国時期はいつですか？

授業が始まる前にオリエンテーションが必要なので、前期留学の場合は3月末、後期留学の場合は9月中旬に入国していただきます。その前に留学ビザ取得の手続きが必要です。詳細は改めてお伝えします。

Q. 休み期間中に本国に帰国してもいいですか。

留学ビザの有効期間内であれば、自由に一時帰国できます。一時帰国するには再入国のための事前手続きが必要です。

Q. 困った時に相談できる人はいますか。

ゼミナールを選択することで担当教員に履修のアドバイスや生活面の相談ができます。また、韓国人の事務スタッフと教員がいますので、母語での相談にも対応できます。



連絡先

〒470-1191

日本国愛知県豊明市栄町武待48 桜花学園大学

TEL. +81-562-97-6311 FAX. +81-562-97-6959

Email. 入試広報課 koho@ohkagakuen-u.ac.jp (入試関係)

斎孝則 (サイタカノリ) sai@ohkagakuen-u.ac.jp (国際交流関係)

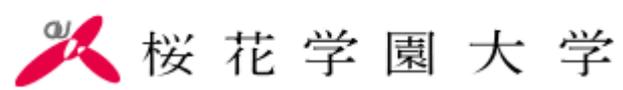
都恩珍 (トウンジン) korandojp@ohkagakuen-u.ac.jp (留学関係)

www.ohka.ac.jp

 @ohka_eigo

 www.facebook.com/ohka_eigo

学校法人桜花学園



桜花学園大学